たします。

万や普段から歩きたいと考えている方

ーディネ

(生活支援体制整備事業)



あおぞら新聞

再出発

ますので、ご理解とご協力をお願 生活できる環境を整えることを目 活支援体制整備事業)を帯広市 令和6年度も広陽・若葉圏域の カンタキあおぞらは昨年度に続き いいたします。 的に、様々な事業を展開して参り 地域のご高齢の方などが不安なく から委託され実施しています。 生活支援コーディネート事業(生 て社会医療法人北斗の介護施設、

コーディネート事業 帯広市の生活支援

ちょっとした支え合いサポーターの皆

「地域で支え合う街づくり」とし

として、地域密着型の介護事業所

当面は3カ月に1回発行の季刊紙

ら新聞」として再出発。

た「あおぞら壁新聞」が

「あおぞ

コロナ感染拡大前まで発行してい

子をお伝えするだけではなく、帯

である「カンタキあおぞら」の様

関する情報など、皆様の生活に役

立つ「あおぞら新聞」をお届けい

広市の生活支援体制整備事業に



い)の活動を始めます。 帯広市生活支援体制整備事業の一環と して、地域のちょいサポさんを中心に 「見守りたい」(ウォーキング見守りた

果も見込めます。さらに「見守りたい 齢を問わず、どなたでも「見守りたい となりますので、腕章を付けて歩いて に参加できます。散歩を習慣にしている また、地域住民の方であれば性別・年 いる「見守りたい」メンバーを見かけ メンバーの健康増進にもつながる活動 ず子供たちの見守りにもなり、防犯効 た際は、是非お声かけください。 この活動は地域のご高齢の方のみなら かけさせていただくこともあります。 ただきます。挨拶を交わしたり、お声 する際、腕章を付けて地域を歩いてい 時に散歩や買い物などでウォーキング 「見守りたい」のメンバーには好きな

あなたの街の生活支援 コーディネーターさん ど、カンタキあおぞらの生活支 地域の防犯に関心をお持ちの方 コーディネーターまでお気軽に

援な

TEL: 0155-36-7723

創刊号

防犯・交通安全講習会を

石川 里美 介護福祉士 カンタキあおぞら

連絡ください。

地域の防犯と交通安全に関する講 帯広市危機対策室から講師を招き、

演

さんの力をお借りしながら、広陽・若 葉圏域の生活支援体制整備に尽力して ご高齢の方の生活環境についてお気づき 会を開催します。

おります。

え合いサポーター会議を同じ場所で ただきます。 たい」始動についてお話をさせて また、講演会の後、ちょっとした 地域のお困りごとや「見守り

成講座(無料)も行いますので、 ちょっとした支え合いサポーター たでも参加できます。 初めての方でもお気軽にご参加くだ 養

地域にお住まいの方であれば、ど

な

日時

11月26日(火) 13:30~14:15

構です、カンタキあおぞらまでお気軽に

の事などあれば、ちょっとした事でも結

会場

カンタキあおぞら 4階多目的室 参加費/無料

参加申込

0155-36-7723 (事前にお申込みください)

11 日

(月) 10時~11時45分

25 日 20 日 18 ⊟ (水) 14時~ (月) 10時 ~ 11時45分 15 明 30 分

でお問合せください。 こ不明な点などはお気軽に左記ま

タキあお そ

帯広 信用金庫

春駒通

QRコードを 読み込むと

表示されます。

〒080-0028 帯広市西18条南4丁目15-10

œ

弥生新道(西18条)

●郵便局

ф

·護でお困りの事は何でも

0155-36-7723

カンタキあおぞら

山本

スロープ

EV

建物北側に駐車場と スロープ付きの入り口が ございます。

ご相談ください。

☎0155-36-7723

5

グーグルマップが

看護小規模多機能型居宅介護

地域交流サロン 『サロンあおぞら』 開催中!

施していた地域交流サロンを再開 リニック)では、コロナ前まで実 カンタキあおぞら(旧あおぞらク します。

ださい。 不要です。 自由に参加でき、 参加料は100円/回で誰でも 当日、 直接お越し 事前の予約も <

待ちしております。 お茶とお菓子を用意して皆様をお

月開催スケジュール

茶話会&元気はつらつ体操 茶話会&元気はつらつ体操

(月) 14時~ 15時3分 茶話会&元気はつらつ体操 糸話会& ちょこっと脳ト レ

社会医療法人北斗 ほくと自立支援ホーム 看護小規模多機能型居宅介護 カンタキあおぞら

者様の〈やってみたい!〉を叶え今年度よりお誕生日を迎えた利用

叶えますー

お誕生日に願いを

る企画を始めました。

8月はT様の希望でボウリングを 想を何度も仰っていただきました。 終了後も「楽しかった!」との感 対戦した介護士もタジタジでした。 れ、年齢を感じさせないプレーで な表情でパークゴルフに取り組ま

楽しんでいただきました。以前は

バスボム作りを体験

に聞きながら製作を楽しまれ斗のガーデナーの説明を真剣てたラベンダーを使用し、北 福祉村にある「星の庭」 作体験に参加しました。同じワークショップ〉のバスボム製 ており、ラベンダーの香りが にある施設「星のひろば」で 7月は通所されている利用者 が北斗福祉村内 (稲田町) 催された〈星の庭 花祭り で育

> いです。 かった」と沢山の感想を聞くいる。「イイスんだね」「楽し を見る事ができてとても嬉し 用者の皆様の楽しそうな表情 ことができました。職員も利

皆さん次回の外出レクリエー ションを楽しみにしています!







は郵便局を辞め運転免許を取得。゛自主

うございました。 あればご紹介させていただきます。 クを計画していますので、 カンタキではその他にもお誕生レ 機会が

残っているそうです。

教習所に通い免許を取ります。教官は帯

広警察署の部長さんだったことが印象に

ビス(通い)

ショートステイ(泊り)

炓介護相談

55-36-7723

看護小規模多機能型居宅介護 カンタキあおぞら 〒080-0028 帯広市西18条南4丁目15-10

主流だった時代ですが、堀さんは現在の 練習〟をして試験を受け免許を取るのが

帯広自動車学校の第一期生として自動車

終戦後、車の運転に興味のあった堀さん

の復興の立役者となりました。

集されることなく戦中を生き延び、

です。実際にクラブを持つと真剣

以前は本格的にパークゴルフをや

気持ちが伝わってきました。

されており、ワクワクされている

「気合いが入ってきました」とお話

かう車内では「いや―楽しみだね」 天気も良く奥様と一緒に会場へ向 を北斗福祉村内にあるパークゴル 6月は 〇様の希望でパークゴルフ

フ場で体験していただきました。

られており今回もマイクラブ持参





ご協力いただきました。ありがとまた、今回はスズランボウル様に も立てられておりました。 るよう頑張るよ」と来年への目標 せてくれました。終始、笑顔で楽 歳を感じさせない見事な投球を見 定期的に友人と楽しんでいたとの 足されたご様子で、「来年は(一緒 事。今回もマイシューズを持参し、 にプレーした若手介護士に) 勝て た」「なんとか出来るもんだね」 しまれ「久し振りにできて良かっ 「あー楽しかった!」 と、 とても満

だけではなく修理技術の習得も必要でし ん今の車と違って故障ばかり。 のはシボレーの4トントラック。もちろ を寄せ集めた運送会社で、最初に乗った 送会社に就職。運転手人生が始まります。 運転免許を取得した堀さんは大樹町の運 アメリカの進駐軍が置いていったトラック

この当時の娯楽と言えば自然の中でピク

今回は終戦後の十 勝を皮切りに、北 バス運転手 北海道の発展を支えた



当時の堀さん

舟で生まれ、幼少期を過ごしました。歴堀さんは昭和5年に今の大樹町にある歴 の尋常高等小学校に通い、卒業後は尾田 スの運転手として北海道中を走り回った 地区にある郵便局に勤めました。青春時 おおらかな時代だったと言います。地元 採ったり、貧しくも自然の恵みは豊かで うです。 堀さんは郵便局員だったので招 志願〟し戻ってこなかった同級生もいたそ 代は太平洋戦争の真っ只中、特攻隊に〟 舟川で魚を獲ったり山で木の実や山菜を 堀文男さん(9歳)をご紹介致します。 そうです。

の時代、少し走ればすぐ未舗装の田園地たそうですが、帯広と言っても小さい街ものはなく、路線バスの運転手をしていに住み始めました。まだ観光バスと言う堀さんは帯広のバス会社に就職し、帯広堀

昭和4年頃になると、北海道が 「外地」

交通違反ですが、おおらかで良い時代だって海や山に行ったそうです。 今だったらトラックの荷台に若者や子供たちを乗せ たのですね。 ニックや海水浴。まだ「バス」はなく、

なります。堀さんも国鉄広尾線の大樹駅バス。今のバスとはかなりイメージが異荷台に〝箱〟を載せた、いわゆるトラックらせる時代に。バスと言ってもトラックのその後、国鉄が鉄道駅を中心にバスを走 いとバスの運転はさせてもらえなかった素早く修理が出来る優秀な運転手じゃな とにかく無事にバスを営業所に戻すこと。 この当時、運転手に求められることは、 を中心にトラックバスを運転しました。 るメカニックとしての腕が不可欠でした。 運転はもとより、修理する技術、いわゆ

その後、高度経済成長期の到来とともに、

せいただきたい 話などをお聞か

堀

だ開発途中。特に自然豊かな観光地に続 めます。しかし、当時の北海道はまだま 変なほどの細さ。高度な運転技術が求め く道は未舗装だったり断崖絶壁でガード としてにわかな観光ブームに。 ールもなく、さらにはすれ違うのも大 堀さんも観光バスを運転し始

わってきました。 情は活き活きとして、その様子が熱で伝 堀さん。当時の話をしている堀さんの表 く運転が好きだったから楽しかった』と り「モーレツ社員」として働いたそうです。 時のバスの運転手は安月給で残業手当が 高度経済成長期に加えて観光ブーム。 られたのは想像に難くありません。 ないと生活が立ち行かない時代。文字通 『辛いこともたくさんあったけど、とにか

これからもまだまだお元気で、当時の

の足で歩いて週3回のデイサービスに通

われています。

私たちが恩恵を授かる日本の高度経済成

長を支えた堀さん。 9歳の今でもご自分